

Case : 244

座面に座って走行中、バランスを崩して転落しそうになる

場面の説明

歩行車のいすに利用者を座らせて、介助者が後ろから押したがうまく走行できず、バランスを崩して転倒しそうになった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

基本的な使用方法の間違いが原因と考えられます。歩行車やシルバーカーに付属するいすは、利用者が歩行の合間に座って休憩をする目的で設計されています。車いすのように利用者を座らせたまま介助によって移動する用具ではありませんので、バランスを崩すほかにもキャストが外れてしまったり、本体フレームが変形してしまうようなことが起こります。絶対にやめましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：間違った使用方法とは思っていなかった
- モノ：人が座った状態で走行する目的の製品ではないことの表示がなかった
- 環境：正しい取扱いを説明してくれる人が周囲にいなかった